

2026年度版 製品審査 審査基準根拠

製品区分	大分類	中分類	小分類	重要度	申請区分
I群	水路工	U形側溝	深溝型(B≤600mm) & (600mm≤H≤1500mm)	1 or 2	製I-水側U-2

審査項目及び審査基準				根拠 (RPCA審査基準が満足する道路土工関係指針等)	
中項目	小項目		審査基準		
荷重	自重	単位体積重量	埋戻し土	$\gamma_s = 18.0 \text{ kN/m}^3$ 以上	『道路PCa工指針』
			鉄筋コンクリート	$\gamma_c = 24.5 \text{ kN/m}^3$ 以上	
			自重の考え方	蓋および側壁の自重を考慮していること	
	土圧	主働土圧	土圧式	主働土圧を算定していること($K_a = 0.333$)	
			活荷重	直載荷重(本体、蓋版)	
	乗入れ横断時				
	衝撃係数	『道路PCa工指針』第6編 水路工編 [12]			
		近接荷重(本体)	$q = 10 \text{ kN/m}^2$		
	荷重の組合せ	本体	直載時(縦断、乗入れ横断)	入力マニュアル [6]~[7] U形側溝 推奨計算方法 (4) 検討ケースおよび荷重組合せ と同一であること	
			近接時		
蓋版		直載時			
材料及び設計諸定数	コンクリート	設計基準強度	24N/mm ² 以上であること。	『JIS A 5372』E.6.2 圧縮強度	
		鉄筋の種類	SD295、SD345「同等以上の性能」であること。	『道路土工 カルバート工指針』4-4-3 鋼材	
許容応力度	コンクリートの許容曲げ圧縮応力度		入力マニュアル[8] U形側溝 推奨計算方法 (6) 許容応力度 に準拠していること	『道路PCa工指針』	
	コンクリートの許容せん断応力度				
	鉄筋の許容応力度				
部材の安全性の照査	解析方法		許容応力度法であること。	『道路土工 カルバート工指針』5-4 部材の安全性の照査	
	構造耐力	底版端部	曲げ応力度		発生応力が許容応力度以下であること
			せん断応力度		
		底版中央	曲げ応力度		
			せん断応力度		
		側壁付根	曲げ応力度		
			せん断応力度		
		底版端部(横断)	曲げ応力度		
			せん断応力度		
		底版中央(横断)	曲げ応力度		
			せん断応力度		
	側壁付根(横断)	曲げ応力度			
		せん断応力度			
	蓋版	専用樹(最大値)	曲げ応力度		
			せん断応力度		
専用樹(最大値)		せん断応力度			
グレーチング		T-25荷重を考慮した計算書であること。	グレーチング製造メーカーの設計書		
側壁	たわみ(変形)量	たわみ(変形)量が入力マニュアル[8] U形側溝 推奨計算方法 (7) 側壁部のたわみ量に規定する値であること	『道路PCa工指針』		
		発生応力が許容応力度以下であること			
	張出蓋受け部	せん断応力度		入力マニュアル[9] U形側溝 推奨計算方法 (8) 張出蓋受け部の検討	
耐久性	鉄筋のかぶりの最小値	12mm以上かつ鉄筋径以上かつ粗骨材の最大寸法の5/4倍以上であること	『道路PCa工指針』		
その他の仕様	基礎材	使用材料	再生砕石(RC-40)を標準 道路PCa工指針 第6編 水路工編 [18]	『道路PCa工指針』	
		厚さ			
	躯体同士の接合	接合仕様	目地工の処理方法が規定されていること	『道路土工要綱H21』2-7-1 路面排水工の施工	
施工	施工マニュアル	施工の手順	施工マニュアル等に記述があること 『道路PCa工指針』第6編 水路工編 [18]~[19] 第6章 U形側溝 7.3 施工方法と施工上の留意点	『道路PCa工指針』	
		施工上の留意点			
製品の品質	外観	検査頻度・方法・項目、判定基準、不合格の処置	製造仕様書に、製品の品質毎に定めた項目についての記述があること 『道路PCa工指針』第6編 水路工編 [17] 第6章 U形側溝 7.2.1 受渡検査 『道路PCa工指針』第3編 製造編 [20]~[23] 第3章 検査	『JIS Q 1012』B.1 製品の管理	
	形状寸法	検査頻度・方法、測定箇所、形状寸法及び寸法許容差、判定基準、不合格の処置			
	コンクリートの圧縮強度	試験頻度・方法、判定基準、不合格の処置		JIS A 1108 『JIS Q 1012』B.1 製造工程の管理	
	構造耐力	試験頻度・方法、載荷荷重、判定基準、不合格の処置		製造仕様書に、製品の品質毎に定めた項目についての記述があること 載荷試験により構造耐力が確認されていること 試験荷重 設計計算に用いた断面力から算出した試験荷重値であること 試験結果 所定の荷重においてひび割れ幅が0.2mm以下であること	『JIS Q 1012』B.1 製品の管理
材料の品質	品質	使用する材料の品質	製造仕様書に、使用する全材料を対象に、材料の品質毎に定めた項目についての記述があること 『道路PCa工指針』第3編 製造編 [6]~[10] 第2章 道路PCa製品の製造 2.3 材料の受入と貯蔵	『JIS Q 1012』B.2 原材料の管理	
	受入検査	検査頻度・方法・項目、判定基準、不合格の処置			
	貯蔵	貯蔵の管理方法			